

## 定例観察会実施報告書

2024年4月24日

実施日 2024年4月13日(土) 天候 晴れ

テーマ 一度は行きたい春の甲山森林公園

コース 甲山森林公園内園路(パークセンター→仏性ヶ原→レストハウス→展望所→パークセンター)

集合 10:00 甲山森林公園パークセンター(管理事務所)

解散 14:30 甲山森林公園パークセンター

参加者 ビジター52名 会員28名(内5班21名)

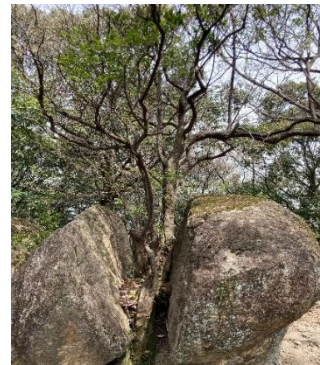
兵庫県立甲山森林公園は1970年に兵庫百年を讃えて開園した公園です。定観はこの森林公園パークセンターで受付を行い、森林公園の外周をほぼ一巡りするコースで観察を行いました。

今回の観察会ポイントは「公園内にある春を感じられる植物の観察をして、甲山やその周辺公園内にある石丁場などを知ってもらうこと」です。ビジター参加者は52名、5班集体でスタートしました。

センターから少し歩くと軽登山道の入口へ着き、緩やかな階段を登るとやがて右や左にシャシャンボ、ネジキの新芽が展開し振り返るとザイフリボクが咲き誇っていました。常緑樹では実がついたヒサカキやカナメモチ、ソヨゴなどが数多く見られました。今の時期、気になるのはサクラとツツジです。サクラで目に付くのがヤマザクラやオオシマザクラですが花期は過ぎ葉が青々と育っていました。周辺に多いコバノミツバツツジは満開ではなかったがその薄ピンク色の花は見事でした。この登山道には所々に巨石の花崗岩が多く見られます。



出発前、コシダで作った籠を説明



花崗岩の岩間に生きるシャシャンボ

巨石を見ながら先に進むと頂部から新芽が出たカラスザンショウやマルバアオダモも白い花を咲かせ、ウラジロやコシダの新芽やクスノキやヒメユズリハの幼木が見られました。階段を下り川に出ると甲山噴火の名残の甲山安山岩が間近に見ることが出来ました。また川傍に石の切り出し作業場だと思われる石垣が残っていて切り出した石はどのようにして運搬したのか?川を使ったのか?など話題になりました。ここから仏性ヶ原への登りが続きます。道筋にはアオハダ、ヤマモモ、ヒメユズリハの大木を見ながら行くと石の切り出しの矢穴跡がある花崗岩の巨石が所々に見られます。



川のそば、石丁場切り出し作業場



矢穴跡のある花崗岩（巨石）

仏性ヶ原に着くと甲山、神呪寺が一望出来、甲山の成り立ちや神呪寺（甲山大師）の謂れなどの説明で登りの疲れを癒しました。ここにクロバイの木があり葉の形状など傍にあったヒサカキを見ながらその違いや特徴などの話をしました。



仏性ヶ原 甲山と神呪寺を一望



クロバイの花芽

ソゴ、カナメモチなどの林を抜けると舗装道路へ出てゆっくりと歩きました。道路沿いの樹木には背の高いシャリンバイやトベラの常緑樹、新芽の香りのクサギ、クワの木の葉芽を見つけました。道路沿いの石垣にはナガバナタチツボスミレやイノモトソウなどシダ類も見られたが整備されているのか草本類が少ないと感じました。やがて昼食場所のレストハウスに着き30分ほどの休憩でしたが多くの参加者にはシンボルゾーンなどの眺めやトイレも近く散在し楽しめた場所だと思いました。

昼食後、班毎にスタートして展望所へ。遅咲きに開花したカスミザクラ、葉に模様を描いていたセイヨウバクチノキ、黄色いシナレンギョウの花が見られました。

展望所からは大阪平野の街並みと遠く生駒山、葛城山、アベノハルカスも遠望出来、雄大な景色を楽しめました。この広場周辺では班毎に大坂城再構築のために供出した石の切り出しに関わる話を紙芝居にして説明をしました。この甲山周辺は国指定史跡の東六甲石丁場跡であり石の切り出しは昔、肥前鍋島家が行い石切り出しの証拠となる鍋島家の刻印や矢穴石を実際に確認してもらいました。



石切り出しの模様の紙芝居を実演



モチノキの雄花

ここから少し山道を行き、サルトリイバラの花やカマツカの葉芽などを見て、元の園路へ戻るとモチノキがあり雄花が見られました。モチノキは雌雄異株、性転換をする木ですがそのメカニズムは不明です。さらに園路を行くとオオシマザクラ、ヤマザクラ、ムクロジ科のハナノキ、ハゼノキ、マユミ、トサミズキ、ロウバイ、ヒメヤシャブシ、ニシキギ、イヌエンジュが次々と出てきます。ヒサカキと同属のハマヒサカキやサンゴジュ、サンシュユには名残の花が付いていました。



やがて自由広場へ着くと周辺にはヤエザクラなどが見られ、その傍らに江戸時代の学者頼山陽の青山の歌碑があり遠くに住む母親に会うためにこの地を何度も訪れたことを詠んだ碑です。

この広場からはすぐに西入口がありアベマキ、イスノキ、ハゼノキなどが並ぶ道を行きパークセンターに着きました。ここで班毎に解散をして帰路につきました。特別な樹木や草本はなかったかもしれませんが熱心な参加者の皆さんには春を充分感じていただいたのではないかと思います。

六甲自然案内人の会  
5班 倉本敏明